

プレコンgres (会員限定)

日 時：7月11日(金) 18:30~20:30

場 所：エル・おおさか(大阪府立労働センター)7階701号室

<座長> 山田不二子 山田内科胃腸科クリニック
平山 哲 大阪府立母子保健総合医療センター 子どものこころの診療科

<話題提供>

1. 誤った報道がなされた被虐待児の1例

○宮田 郁¹⁾、新田雅彦²⁾、久下亜樹子³⁾

1)大阪医科大学附属病院看護部、2)大阪医科大学救急医療部、3)大阪医科大学附属病院広域医療連携センター

2. 代理人によるミュンヒハウゼン症候群(MSBP)の一例

○木下あゆみ¹⁾、伊藤道徳¹⁾、福田育美²⁾、佐々木剛³⁾

1)四国こどもとおとなの医療センター小児科、2)同 MSW、3)三豊総合病院小児科

3. 旭中央病院CPTにおける子ども虐待対応失敗ケースについて

○仙田昌義¹⁾、大島 誠²⁾、木脇和利³⁾、高山美津子³⁾

1)総合病院国保旭中央病院小児科、2)同 小児救急認定看護師、3)同 医療連携福祉相談室

4. 近親者の子どもを妊娠した若年妊婦の事例

○山下亜希子¹⁾、鈴木理恵¹⁾、和田聡子¹⁾

1)大阪府立母子保健総合医療センター母性中央部

プログラム

7月12日(土)

9:30～11:30

【一般演題A】テーマ：病院内外の連携

<座長> 田崎みどり 横浜市西部児童相談所 児童精神科

1. 当院の育児支援対策室の活動～児童虐待防止医療ネットワークから見えてきたもの～
○福田育美¹⁾、藤本 縁²⁾、白井 澄³⁾、藤下宜子²⁾、鈴木真美²⁾、小松絵梨²⁾、木下あゆみ²⁾、伊藤道徳²⁾
1) 四国こどもとおとなの医療センターMSW、2) 同 育児支援対策室、3) 同 地域連携室
2. 当院における育児支援看護師の役割
○白井 澄¹⁾、藤本 縁¹⁾、藤下宜子¹⁾、鈴木真美¹⁾、河崎佳子¹⁾、小松絵梨¹⁾、福田育美²⁾、木下あゆみ¹⁾、伊藤道徳¹⁾
1) 四国こどもとおとなの医療センター育児支援対策室、2) 同 MSW
3. 精神科における子どもの虐待予防活動への1案
○石川慎一¹⁾、河村麻美子²⁾、上月 遙³⁾、大谷恭平²⁾、高宮静男²⁾
1) 西神戸医療センター精神・神経科、2) 西神戸医療センター、3) 京都大学大学院脳病態生理学講座(精神医学)
4. 医療機関と行政の地域連携による児童虐待未然防止・子育て支援の取組
○三沢あき子¹⁾、水野又啓¹⁾、西田恵理子¹⁾、竹原智美¹⁾、平野慶三²⁾、久保田文乃³⁾、榊原敏記⁴⁾
1) 京都府乙訓保健所、2) 京都府家庭支援総合センター、3) 済生会京都府病院看護部、4) 同 小児科
5. 千葉県児童虐待対策研究会の取り組み～児童虐待防止のための医療機関ネットワークの構築を目指して～
○仙田昌義¹⁾、千葉文子²⁾、齋藤直樹³⁾、小橋孝介⁴⁾、白戸由理⁵⁾、三平 元⁶⁾、安藤咲穂⁷⁾
1) 総合病院国保旭中央病院小児科、2) 千葉大学法医学教室、3) 千葉大学小児科、4) 国立精神神経医療センター小児神経科、5) 東京女子医大八千代医療センター発達小児科、6) 松戸市立病院小児科、7) 千葉県こども病院精神科

【一般演題B】テーマ：ネグレクト

<座長> 稲田 浩 大阪市保健所

6. 継続的にネグレクトの経過が認められた死亡事例5例の法医公衆衛生的考察

○山岡祐衣¹⁾、田宮菜奈子¹⁾、藤原武男²⁾、山崎雪恵³⁾、谷口 香³⁾、宮石 智³⁾

1)筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ研究室、2)国立成育医療研究センター社会医学研究部、3)岡山大学大学院医歯薬学総合研究科法医学分野

7. 愛情遮断症候群と診断した早産児の3例

○古瀬優太¹⁾、土屋まゆみ¹⁾、山口健司¹⁾、山本さやか¹⁾、永島哲郎¹⁾

1)釧路赤十字病院

8. 医療現場における親権停止例の現状と課題

○菊地 祐子¹⁾

1)東京都立小児総合医療センター

【一般演題C】テーマ：教育

<座長> 仙田昌義 総合病院国保旭中央病院 小児科

9. 医療機関向け虐待研修プログラム（BEAMS）受講前後の知識評価を目的とした質問票開発、およびその妥当性・信頼性を調査するためのパイロット研究

○安 炳文¹⁾、田崎みどり²⁾、田上幸治³⁾、仙田昌義⁴⁾、田口めぐみ⁵⁾、小橋孝介⁶⁾、小穴慎二⁷⁾、溝口史剛⁸⁾、山田不二子⁹⁾

1)京都府立医科大学救急医療学教室、2)横浜市西部児童相談所、3)神奈川県立こども医療センター、4)総合病院国保旭中央病院、5)横浜市南部児童相談所、6)国立精神神経医療研究センター病院、7)西埼玉中央病院、8)群馬県済生会前橋病院、9)山田内科胃腸科クリニック

10. 医療機関向け虐待対応研修 BEAMS：Stage3 概要紹介

○溝口史剛¹⁾、小穴慎二²⁾、小橋孝介³⁾、田上幸治⁴⁾、安 炳文⁵⁾、山田不二子⁶⁾、田口めぐみ⁷⁾、仙田昌義⁸⁾、田崎みどり⁹⁾

1)群馬県済生会前橋病院、2)西埼玉中央病院、3)国立精神神経医療研究センター病院、4)神奈川県立こども医療センター、5)京都府立医科大学救急医療学教室、6)山田内科胃腸科クリニック、7)横浜市南部児童相談所、8)総合病院国保旭中央病院、9)横浜市西部児童相談所

11. 歯科学生への虐待に関する教育 第2報 講義改善の試み

○岩原香織¹⁾、都築民幸¹⁾

1)日本歯科大学生命歯学部歯科法医学講座

11:30～13:00 昼休み (理事会)

13:00～14:00

【一般演題D】テーマ：頭部外傷

<座長> 長嶋達也 兵庫県立こども病院 脳神経外科

12. 虐待が疑われた新生児開放性頭蓋骨骨折の1例

○田中敏春¹⁾、蛭間有紀子¹⁾、小林かおり¹⁾、佐藤由紀子¹⁾、阿部裕樹¹⁾、高塚尚和²⁾

1)新潟市民病院児童虐待対策委員会、2)新潟大学法医学教室

13. 生後2カ月児の虐待による顔面打撲 ～複数の救急医療機関で診療を断られた例～

○川崎英史^{1)、2)}、井上美智子²⁾、毎原敏郎^{1)、2)}

1)兵庫県立塚口病院小児科、2)兵庫県立塚口病院こども家族支援室

14. 神経原性肺水腫をきたした被虐待児の1例

○小西央郎¹⁾、岩本立¹⁾、青木大地¹⁾、守屋真¹⁾、野本仁志¹⁾、野間裕里江¹⁾

1)中国労災病院

15. 頭蓋内出血症例のアンケート調査からみた横浜市における児童虐待医療の現状

○佐藤厚夫¹⁾、甲斐純夫¹⁾、栗原八千代¹⁾、田口めぐみ¹⁾、田崎みどり¹⁾、菊池信行¹⁾

1)横浜市児童虐待防止医療ネットワーク

16. 日本の被害者ケア、司法看護実践の課題

○竹元仁美¹⁾、山本八千代²⁾、泉澤真紀³⁾

1)聖マリア学院大学看護学部、2)北海道科学大学保健医療学部、3)旭川大学保健福祉学部

14:00～14:15 休憩

14:15～15:45

【特別講演】

<座長> 佐藤拓代 大阪府立母子保健総合医療センター 母子保健情報センター

「虐待の連鎖を断ち切るには～私たちができること」

山本恒雄 日本子ども家庭総合研究所

子ども家庭福祉研究部 家庭福祉担当部長

15:45～16:00 休憩

16:00～18:00

【パネルディスカッション】小児医療のピットフォール①

テーマ：性虐待を見逃さないために

<座長> 溝口 史剛 群馬県済生会前橋病院 小児科
池宮美佐子 大阪市保健所

<パネラー>

小児科医：毎原敏郎 兵庫県立塚口病院小児科

産婦人科医：山本順子 真弘会谷病院産婦人科

性暴力救援センター大阪 (SACHICO)：楠本裕紀 阪南中央病院産婦人科

児童精神科医：小杉 恵 大阪府立母子保健総合医療センター
子どものこころの診療科

<指定発言>

山田不二子 山田内科胃腸科クリニック

山本 恒雄 日本子ども家庭総合研究所子ども家庭福祉研究部・家庭福祉担当部

18:30～21:00

【懇親会】

会場：大阪キャッスルホテル

住所：〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町1番1号

地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋駅」の真上

電話 06-6942-2401

会費：4,000円

7月13日(日)

9:30～10:30

【一般演題E】テーマ：周産期と虐待

<座長> 足立晋介 市立福知山市民病院 小児科

17. 養育不全・児童虐待予防のための妊娠期からの医療・保健・福祉の地域連携 ―「母と子のサポートネットせたがや」の取り組みと課題

○立花良之¹⁾、竹原健二²⁾、辻井弘美³⁾、久保隆彦⁴⁾、森臨太郎²⁾、奥山真紀子³⁾

1) 国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科、2) 同 研究所成育政策科学研究部、3) 同 こころの診療部、4) 同 周産期・母性診療センター産科

18. 養育困難によって産後施設入所となったベビーについての考察

○青木興子¹⁾、石川依子²⁾、山本征也²⁾、志水信彦²⁾、中田成慶²⁾、西野由美子³⁾、矢作由美⁴⁾、藤川繁美⁴⁾

1) 阪南中央病院医療福祉連携部、2) 同 小児科、3) 同 看護部、4) 聖母託児園看護師

19. ”赤ちゃんの泣き”に関する保護者アンケート調査 ―乳幼児揺さぶられ症候群予防啓発―

○五十嵐 登¹⁾、村上将啓¹⁾、松田裕介¹⁾

1) 富山県立中央病院小児科

20. 当院における乳幼児揺さぶられ症候群予防教育の現状と課題

○土屋まゆみ¹⁾

1) 釧路赤十字病院

【一般演題F】テーマ：長期入院・療育

<座長> 松岡太郎 豊中市保健所

21. 受傷機転が不明な骨折を繰り返し身体的虐待が疑われた重症心身障害児の1例

○金子愛子¹⁾、熊田知浩¹⁾、野崎章仁¹⁾、林 安里¹⁾、日衛嶋郁子¹⁾、柴田 実¹⁾、楠隆¹⁾、藤井達哉¹⁾

1) 滋賀県立小児保健医療センター

22. 被虐待児症候群長期入院例の家族と医療者のかかわりについて

○佐藤 智¹⁾、高橋英城¹⁾、日比野初美²⁾、鳴海礼子²⁾、藤平輝明³⁾、宮島 祐⁴⁾、河島尚志¹⁾

1) 東京医科大学小児科、2) 同 小児病棟看護師、3) 同 総合相談・支援センター、4) 東京家政大学子ども学部子ども支援学科

23. 子育て支援から始まる子ども虐待の防止に果たすべき療育機関の機能を考える

○勝連啓介¹⁾、仲本千佳子¹⁾、中村恭子¹⁾、泉川良範¹⁾

1) 社会福祉法人五和会名護療育園

10:30～10:45 休憩

10:45～12:00

【特別講演】

<座長> 毎原敏郎 兵庫県立塚口病院小児科

「親子として在ること ～難病児と家族への支援で考えたこと～」

富和清隆 東大寺福祉療育病院 院長

12:00～13:00 昼休み

13:00～14:00 評議員会 兼 総会

14:00～16:00

【パネルディスカッション】小児医療のピットフォール②

テーマ：その所見は事故か虐待か

<座長> 小熊 栄二 埼玉県立小児医療センター 放射線科

木下あゆみ 四国こどもとおとなの医療センター 小児科

<パネラー>

整形外科医：横井広道 四国こどもとおとなの医療センター小児整形外科

小児科医：石川順一 大阪市立総合医療センター小児救急科

放射線科医：山口善道 兵庫県立こども病院小児救急医療センター救急科・小児科

公衆衛生医：佐藤拓代 大阪府立母子保健総合医療センター母子保健情報センター

<指定発言>

溝口史剛 群馬県済生会前橋病院 小児科

16:00～18:00

(社福) 子どもの虐待防止センターとの共催事業

「性虐待被害児診察研究会」